



今日のトピック **米1-3月期一株当たり利益は大幅上方修正  
米国では株価に続き企業業績も急回復**

**ポイント1 米1-3月期決算は好調  
一株当たり利益は前年比+45%**

- 5月19日時点でS&P500社中470社が決算を発表し、米国企業の1-3月期の決算発表はほぼ終了しています。一株当たり利益は前年比+45%と大幅増益となっています。
- 水準で見ても企業利益は大幅に伸びており、コロナ前を大きく超えて過去最高を更新しています。米国企業は総じて非常に好調な業績を発表しています。

【S&P500一株当たり利益】

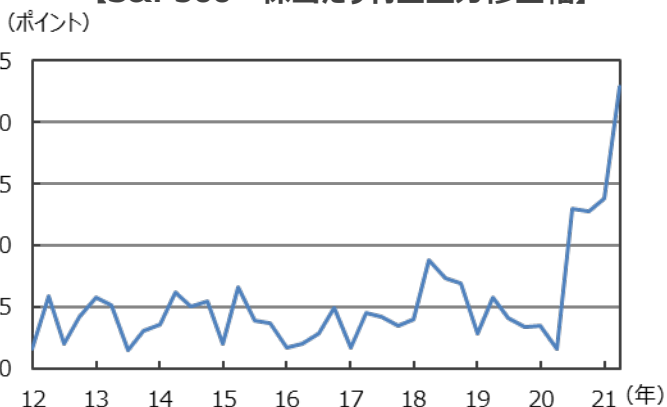


(注) データは2008年1月～2021年3月。四半期の実績値。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータに基づき三井住友DSアセットマネジメント作成

**ポイント2 利益は大幅上方修正  
上方修正幅は23ポイント**

- また、特筆すべきは事前予想からの修正幅です。1-3月期の一株当たり利益の事前予想は前年比+22%でしたが、実際は+45%となり、23ポイント上方修正されています。この23ポイントというのは、データが取れる2012年以降で最大の上方修正幅となっています。
- これまで、実体経済の立ち上がりが鈍い中で、株価がやや先んじて回復しているとの指摘もありました。しかし、今回の決算発表では、米国の株価上昇が企業業績の改善という裏付けをしっかりと伴っていたことが示されています。

【S&P500一株当たり利益上方修正幅】



(注) データは2012年1月～2021年3月。四半期の事前予想と実績値の差。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータに基づき三井住友DSアセットマネジメント作成

**今後の展開 経済再開に伴い上値更新へ**

- これまでの上昇が大きかったこともあり、好決算にもかかわらずここ1カ月ほど米国の株価の上値は抑えられています。
- 今後については、新型コロナウイルスのワクチン接種拡大による経済再開が進むに従い、企業業績もさらに伸び続け、それに伴って株価も緩やかに上値を更新していくと考えています。

**ここもチェック!** 2021年5月12日 **ダイバージェンスからコンバージェンスへ (吉川レポート)**  
2021年5月10日 **米雇用統計、27万人増にとどまるも米株式市場は最高値更新**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。